

保育計画成果報告書

法人	社会福祉法人 多加良浦学園
施設名	御田クローバー保育園
報告者（役職）	中村 多加子（園長）
住所・連絡先	愛知県名古屋市中村区岩塚 4 丁目 10 番 1
	☎ 0 5 2 - 4 1 2 - 5 1 2 3 e-mail hoikuen2000@outlook.jp

○タイトル（保育計画）

プール大好き、こんな遊びもできるよ

○主な助成備品

備え付けプール

1. 保育計画策定の目的

平成28年度に御田クローバー保育園として、名古屋市立御田保育園を民間移管し、現在の場所に新園舎を建設し移転しました。「心身ともにたくましく、思いやりのある子ども」を育てるために、自然の中で五感を使い思い切り遊ばせたい。そんな思いで据え置き型のプールを購入しました。

保育における水遊びについては、心身の健全な成長に有用であるという示唆だけでなく、子どもの心を和ませ、活性化させるにも効果があるといわれています。水遊びはもとより、四季おりおりの自然の恵みを活用して、子どもたちが心を躍らせるような遊びを展開したいと考えました。

2. 具体的な実施内容

水遊び、プールとしてだけでなく、造形遊び、ボールプール遊びなどを計画し、年間を通して利用できるよう年間計画を策定しました。また、落ち葉や雪を活用し、四季を体感し、思いっきり楽しめるような活動を、全職員で話し合い、安全面にも配慮し取り組んできました。

(1) 水遊び (3歳・4歳児・5歳児)

プールが2階テラスに設置されるのを見て、「大きなプール。」「〇〇組になったら、新しいプールに入れるね」と期待に胸を膨らませていました。プール開き式には、『水の精』に扮した職員が「事故やけがなくプールでの遊びを楽しめるように」とお塩でお清めしてくれ、一層子どもたちの期待が高まりました。



(2) 造形遊び

プールのある環境を生かした造形遊びを計画しました。

① 魚釣り (3歳児)

自分たちで描いた魚で魚釣りをしました。プールサイドから釣るのがもどかしく、その後、次々とプールの中に入って大胆に釣りを楽しみました。



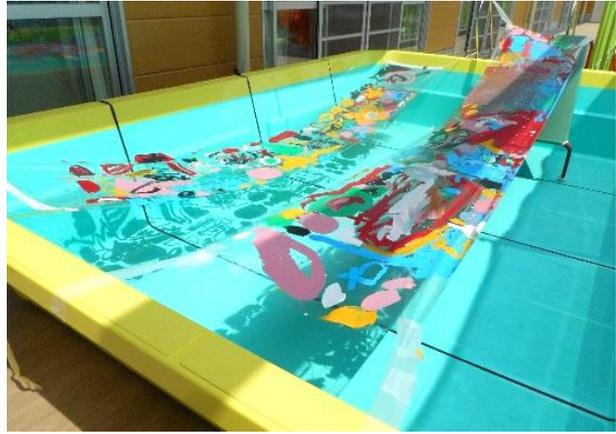
② くらげ遊び (4歳児)

傘入れのビニール袋をくらげに見立ててビニール袋に色を塗り、中に色画用紙の魚と水を入れました。色画用紙の色が、水に溶け出して色が変わっていく変化やくらげとプールの中で遊ぶことを楽しみました。



③ 透明ビニールにお絵かき（5歳児）

透明のビニールに絵の具で絵を描き、プールに映る影を楽しんだ活動には「きれいな影だね。」「もっとやりたいなあ。」と子どものわくわく感が爆発していました。



(3) プールを使った遊び（幼児）

① 色水遊び

水遊びの中で、子どもたちに大人気なのが色水遊びです。何度体験しても飽きずに、長時間にわたって集中して遊んでいました。水着になりプールの中で遊ぶので、服や靴が濡れたり汚れたりする心配がなく、「ジュースができた」「色が変わった」と友だちとの会話が弾んでいました。



② 寒天遊び

赤色や青色、黄色の寒天を使って、クッキングごっこをしました。「パフェができた」「いちごのかき氷をどうぞ」と言いながら友だちと交流している姿が見られました。また、手で握り潰した寒天の粒が、浮いたり沈んだりする様子を見て楽しんでいました。



③ 雪まつり（4歳児）

雪が降ったら、札幌雪まつりのようにしようと計画しましたが、雪が少ししか積もらなかったため思う存分遊べませんでした。しかし、めったに雪が降らない名古屋の子どもにとっては、少ない積雪量でも、目を輝かせて雪遊びをしていました。



その他にも、プールの中に浮かべた風船や上からぶら下げた風船を的にして、水鉄砲の水をかけたり、ビニール袋の中にカラーセロファンを入れて、セロファンの色が水に溶けていく様子やビニール袋の中のセロファンが動く様子を見たり、プールの水の中に沈めたりして遊びました。

（4）プールを使った遊び（乳児）

乳児には、水遊び以外の遊びを計画しました。

① ボールプール遊び（0・1・2歳児）

幼児による夏の水遊びが終わり、待ちに待った乳児のプールを使った最初の遊びをボールプール遊びにしました。ボールが大好きな子どもたちは、握りやすくカラフルなボールに、にこにこ顔。太陽の陽を浴びながら、のびのびとした解放感を味わっていました。



② 落ち葉遊び（1・2歳児）

保育園の前の公園は、毎年たくさんの落ち葉を散らせます。落ち葉をたくさん集め、念願の落ち葉プールをしました。子ども達は、葉っぱをまき上げながら、「葉っぱの花火だ。」「お誕生日、おめでとう。」と歓声をあげていました。



3. その成果と評価

- ・園庭とは違う風景を楽しめ、四季を体感し子どもが季節を認識できるようになりました。
- ・魚釣りやボール遊びなど、室内になりがちな遊びも屋外で行うことで、心地よい解放感の中、子ども達の満面の笑みをたくさんみることができました。
- ・気軽に外気浴を楽しめる機会が増えることで、自律神経の発達の促進に役立てたと思います。
- ・乳児が大きなプールでいろいろな遊びを楽しむことで、幼児になった時、プールでの水遊びへの抵抗がなくなることが期待できます。
- ・屋外に設置されたプールでの遊びを意識的に計画することで、戸外遊びは園庭か散歩という固定概念がなくなり、保育士の考えが柔軟になり幅が広がりました。
- ・保護者の方にプールを活用した1年間の実施内容を掲示・報告したところ、「プールでいろんなことをやっていたのですね」と喜ばれました。

4. 今後の課題と展望

年間計画では、3月に年長クラスの卒園のお祝いとこれまでの感謝の気持ちをこめて、年中クラスの子どもたちが、プールでの足湯とお茶でおもてなしをする『クローバー温泉ごっこ』を計画していました。入浴剤に給食で食べたみかんの皮を干し、準備をしていましたが、真冬の寒さが続いたために実施できなかったのが今年度の反省と課題です。

1年を通してプールで遊ぶということを職員全員で考えることで、子どもが心からおもしろいと思えることのアイディアを出し合い、子どもが本当に楽しめたのかを深く探求しようとする姿勢が芽生えてきました。今後も、子どもが目を輝かせて取り組める体験を充実させていきたいと思っています。